

### 令和4年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	シダレグリシンポジウム 記録集作成事業
事業主体 (連絡先)	辰野町 (上伊那郡辰野町中央1番地)
事業区分	(3) 教育、文化の振興 (1) 地域協働の推進
事業タイプ	ソフト
総事業費	792,000円 (うち支援金: 594,000円)

#### 事業内容

令和3年度にオンラインで開催した「小野のシダレグリ自生地」指定100周年記念シンポジウムの記録集を作成した。オンラインで収録したパネルディスカッションを原稿化し、予稿集の原稿や記録写真と合わせて1冊にまとめた。作成した記録集を活用して講座を開催した。

- ・記録集の作成 500冊  
送付：市町村教育委員会、図書館など
- ・記録集を活用した講座  
日時：令和5年3月10日(金) 13:30~15:00  
会場：辰野町民会館 大会議室 参加者：39名



【記録集を活用した講座の様子】

#### 事業効果

- ①シンポジウムの内容を資料化できたことで、天然記念物全般に対する理解を促進し、資料を活用した講座の実施など新たな活用を進めることができた。
- ②資料化を通じて、昨年度関わった県内外2市と引き続き連携が図れたことに加え、町内の写真愛好家や講座参加者の協力を得られた。また県外2市から保存管理や活用についての問合せがあり、先進事例として認識されていることが伺えた。
- ③記録集を活用した講座を実施し、参加者から「自生地への理解が深まった」「これまで何気なく見ていた場所の再発見になった」といった声が聞かれた。

- 【目標・ねらい】
- ①関心を持つ近隣住民の増加
  - ②他市町村との連携体制の構築
  - ③保全ボランティアの増加

※自己評価【B】

【理由】

- ・シンポジウムの内容を資料化できたことで、天然記念物への理解と活用を進められたから。
- ・記録集に基づいた講座等による普及啓発が容易になり、今後も幅広い活用が期待できるから。

#### 今後の取り組み

本事業を通じて、これまで調査研究で明らかになった事柄や各地の先進的な保全事例が一冊に取りまとめられ、一つの天然記念物の学術的資料として形になった。完成した記録集を保全活動の指針や普及啓発の資料として活用していくとともに、本事業を通じて構築された繋がりを大切に、今後も定期的に情報交換しながら文化財を次の世代に繋げていきたい。

本事業において、小野のシダレグリ自生地が人々の営みの中で守られ、育まれてきた歴史が明らかにされた。地域の宝である天然記念物の価値をより一層周知し、天然記念物に親しんでもらうために、保全に関わってくれる人を募るイベントや学習会なども検討したい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。  
「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた  
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある